

びがいのトビウ



【特集】市民インタビュー

自由な外遊びで五感を刺激

子どもが思いっきり遊べる場を作る P2

はむらプレーパークの会

●平成 31 年度予算審査	P4
●審議した主な議案	
市長提出議案	P10
委員会提出議案	P12
議決結果一覧	P12
●議会活動報告	P15
●市政について問う	
《一般質問》	P16

No.124

令和元年（2019年）
5月1日発行
（通巻 233号）

自

由な外遊びで五感を刺激

子どもが思いっきり遊べる場を作る はむらプレーパークの会



市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支えている方が大勢います。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思えます。今回は総務委員会が担当しました。

【表紙の写真】
小作台5丁目広場で行われた
放課後ちょこっとプレーパーク
(平成31年3月20日撮影)

はむらプレーパークの会は、平成28年度から30年度まで市と市民活動団体が協働して取り組む「市民提案型協働事業」として採択されました。ゆとりのないが増えている現代で、少しでも子どもたちがのびのびできる場を作りたいとの思いで活動されています。

プレーパークとは

関口 英代さん(中2・小5・6歳) 子どもたちが「自分の責任で自由に遊ぶ」をテーマにした活動です。子どもたちがやってみようことに挑戦し、大人は口や手を出さずに見守っているのが基本です。



具体的な活動内容は

関口 年数回、堰下レクリエーション広場で火を使って焚き火をし

たり、ロープ遊びをしたりしています。昨年からは月1回、小作台5丁目広場で縮小版の「放課後ちょこっとプレーパーク」をしています。その他、子育て関連の講演会や月1回の定例会を開催しています。

活動の魅力・やりがいは

河野 咲季さん(小5・小3) 子どもの頃は思いっきり遊ばせたいが、なかなか今の公園では難しい。プレーパークは自分の子ども



※名前下の() はお子さんの学年・年齢

も楽しんでいて最初はマッチで火をつけていたのが、今は火打石で火をつけられるようになりました。

齋藤 江利香さん(中3)



大人が先回りしてやることで子供の経験の場を奪ってしまう。子どもができるようになるまで一歩引いて見守ることが大事。子どもから学ぶことが多いです。

関口 市内にはたくさん公園があるが、どこも火の使用は禁止されている、高学年になるほどできることが限られてきます。「わざわざ遊び場を作るのか」と言われた事もあるが、昔とはだいぶ環境が違ってきているので活動をしています。

永川みづ子さん(中2・小6・小2)



一番のやりがいは、子どもにも「それやっちゃダメ！」と言わなくていい空間があること。子どもは、プレーパークがあると知ると、今では何をやるか事前に計画を立て

ている。自由に解放している子どもを見ていることが楽しいです。関口 会場に来てすぐに遊ぶのではなく、何度か来ているうちに遊ぶようになる子もいる。土手を段ボールで滑るのも、自分の子どもは8回目で初めてやりました。火をつけるのも、だんだんできるようになり、自信に満ちた表情に変わるのを見るとやりがいを感じます。齋藤 屋内では体験できないものが外遊びにはある。五感全部を刺激する。プレーパークは、いつもダメだと言われていることが認めてもらえる場。いろいろな体験をすることでいろいろな刺激を受けることができます。

活動を続ける上での課題は

永川 資金集め(笑)。会員数を増やすことです。

関口 市民提案型事業の助成が3年目となり平成31年春に終了したので、NPO法人にするなども考えています。ゆくゆくは常設化したいが課題も多くなかなか難しい。永川 子どもたちがふらっと自分のやりたいことができているのが理想。

河野 堰下レクリエーション広場は子どもが一人で行きにくい。子どもが一人で行ける場所のできたらいいですね。齋藤 マンパワーも足りない。こういう場があることを知ってもらい、良いと思ってくれた方がお手伝いしてくれたいですね。

他の地域との連携は

関口 西多摩プレーパーク連絡会を作った。講演会の手伝いに来てもらったり、集まって話をしたり。メーリングリストで情報交換をしながらそれぞれの特徴を活かしてやっています。

今後の目標は

永川 「何かをやらなくてはい



インタビューを終えて

はむらプレーパークでは、3年間で2260人の参加者があったそうです。取材を通して、子どもたちだけではなく、保護者同士が繋がったり、気分転換できたりする場になっていて感じました。

お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

はむらプレーパークの会

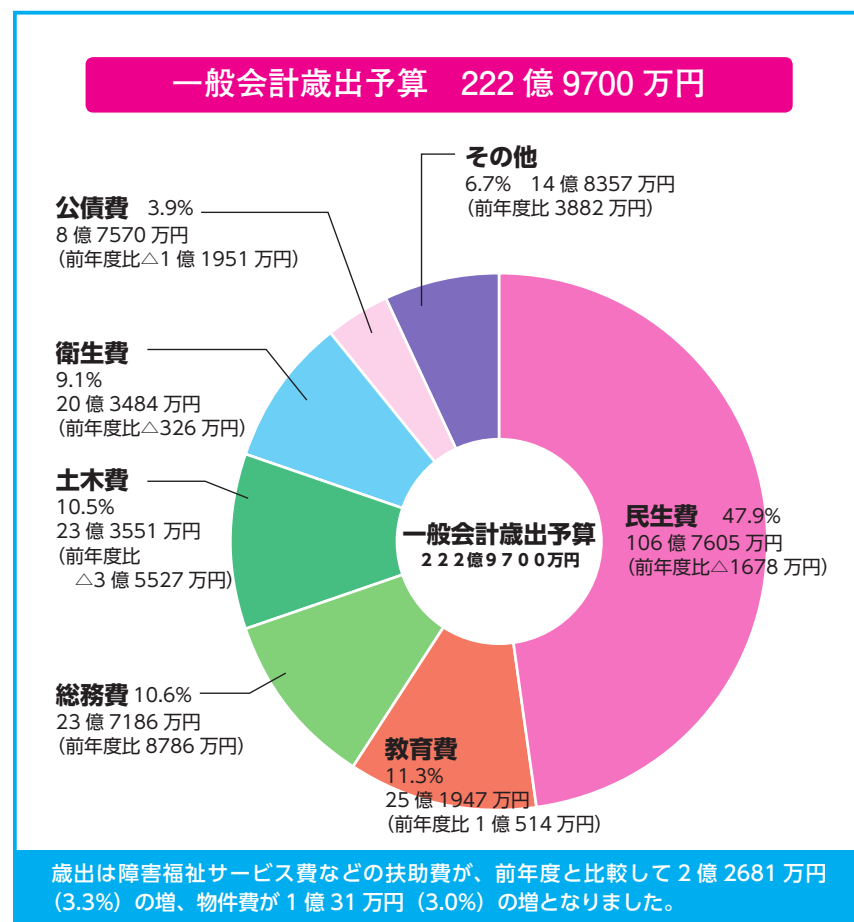
会員数 43人
年会費 1家族 1000円
連絡先 578-2455 (関口)

※メール会員に登録した方に情報を送ります(無料)。お名前と連絡先(任意)にひと言添えて hamurappa@gmail.com宛にメールを送ってください。

依然として厳しい財政状況
1200の事務事業を見直し対象にした
新年度予算を

可決

予算審査は、その金額や使い道が市の現状やニーズに
ているか、特別委員会を設置して行うものです。
平成31年度予算について、3月11日から13日まで、議長を
除く17人の委員で構成された一般会計等予算審査特別委員会
(委員長…山崎陽一議員、副委員長…橋本弘山議員)で慎重
に審査しました。
その結果、7つの会計（一般会計と5つの特別会計、公営企
業会計）の新年度予算をすべて可決すべきと決定しました。
この特別委員会の審査結果を本会議最終日に報告、一般会
計は修正案が出されましたが否決となり、7つの会計すべてを
原案のとおり可決しました。



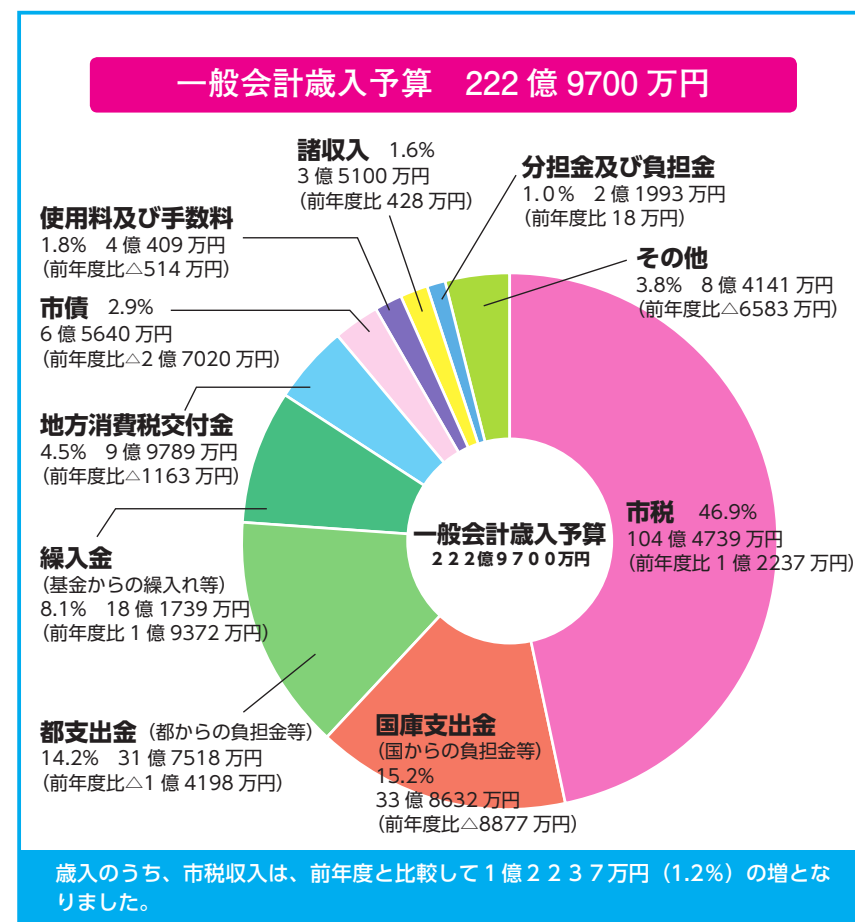
財政

Q 公会計制度の活用はどのよう
に考えているか。
A 予算編成や行政評価などに公
会計制度で作成した財務書類を活
用して、財務マネジメントを強化

福祉・健康

Q 行政のスリム化計画では、コ
ミュニティセンター(じゅらく
苑)の休館日の増加が計画されて
いたが、どうなったか。

一般会計歳出委員の質疑



Q 10月からの幼児教育の無償化
による一般会計への影響額は。
A 保育園利用者負担金の無償化
の影響は、おおよそ6000万円
強の減額である。
Q 市債残高に対する基金残高の
割合はどれくらいか。また26市平

均は。
A 羽村市は11・5%で26市平均
の37%を下回っている。
Q 法人税の税収見込みに関して、
昨年大幅な減額補正をしたが、今
年の税収見込みは確実か。
A 各企業の業績状況や決算情報

一般会計歳入委員の質疑

教育

Q 特色ある学校づくり交付金を
もっと使いやすくしてはどうか。
A 狙いをもった計画のもとで事
業に取組み、その成果を検証する
など、その都度改善を図っていく。
Q 学力向上のためにも、わかり
やすい授業のための準備時間を教
員が確保できるようにすべきでは。
A 教員が子どもたちに対して素
晴らしい教育ができるように、
「羽村市立学校における働き方改
革推進プラン」を策定し、推進し
ていく。

Q 使用率が100%近い現状を
考慮し、休館日は現状のままとした。
Q スイミングセンターのロッカ
ーを防犯上撤去したが、コンクリ
ート基礎部分が一段高く残り危険
対策は。
A 目印をつけるなり、ベンチを
置くなり今後検討していく。

一般会計歳入委員の質疑

を聞き取りなどにより得て、より
確実な額を積み上げた。
Q スポーツセンター使用料と堰
下レクリエーション広場使用料が
増えている理由は。
A スポーツセンターは条例改正
して個人使用料を上げた影響。堰
下レクリエーション広場は、近年
利用が増えていることと、駐車場
を整備したことによる増を見込み
予算を上げた。
Q 庁舎使用料の行政財産使用料
が平成30年度と比較して倍になっ
ている理由は。
A 11月から庁舎内に広告つき案
内表示板を設置した。庁舎を使用
するため、行政財産使用料として
計算した。



庁舎1階に設置された案内表示板

子ども・子育て

Q 新生児聴覚検査の公費負担の内容は。

A 一人3千円を公費で負担する。対象の新生児数400人全ての受診を見込んでいる。

Q 2歳児を対象とした幼稚園型一時預かり事業の詳しい内容は。

A 市内幼稚園1園を活用し、月々金曜日午前7時30分～午後6時30分に実施。定員6名。保育認定を受けることが条件。

市民生活

Q はむら若者”輝“会議の平成31年度活動予定と羽村高校との連携事業の内容について。

A 来年度も多摩大学と連携して市や地域の課題を抽出し、市政へ



新生児聴覚検査の受診票



幼稚園型一時預かり事業の実施



羽村高校との連携事業

提言する。羽村高校との連携は、2年生を対象としてまちづくりワークショップ等を開催する予定。

Q 気象観測装置の導入予定時期と活用方法は。

A 5月中の導入を目指す。地域に密着した情報として熱中症の注意喚起や豪雨情報などの伝達に活用したい。

Q コミュニティバスはむらんの今のルートとダイヤ改正の内容は。

A さくらモールと江戸街道公園に新しいバス停ができたことによるルート変更。ダイヤは、羽村中央コースの福生病院に到着する時刻を早めるなど、全て見直した。

くらし

Q 市道第202号線の三矢会館前付近は、舗装の継ぎ目や段差が多く近隣住民は騒音や振動に悩まされている。改修されるのか。

A 武蔵野小学校から三矢会館付近の間で道路の舗装工事を実施する。

Q 捨て看板除去委託料が計上されていなのはなぜか。

A シルバー人材センターへ委託してきたが、捨て看板の数が減ったため、平成31年度は除去推進員と市職員で実施することとした。

Q 道路維持整備費は、平成29年度から31年度の間に額が大幅に変化した理由と補修計画の達成率は。

A 道路舗装修繕実施プログラム



気象観測装置の導入



江戸街道公園の新しいバス停



市道第202号線

に基づいて予算化している。平成31年度施工が完了すると25・7%の達成率となる。

Q 道路維持整備に要する経費、街路照明施設整備に要する経費ともに大幅に増えているが、平成32年度以降も実施計画に沿って整備を進めていく予定か。

A 市道の補修、街路灯の改修、LED化等、今後も計画に基づいて進めていく。

Q 動物公園の駐車場へ向かう途中、事務所棟裏側の部分がフェンス越しに見えるが見栄えがよくない。対策は。

A 整理整頓してきたが、今後も指定管理者と協議して対応していく。

委員の意見（一般会計）

賛成

市民の命と未来を守る事業を評価

子育て施策の充実、多様なニーズに応じた教育相談の充実、都市基盤整備の強化等、市民の命と未来を守る事業は評価したい。地域活性化を図るため商工会と連携した新事業は制度設計をしっかりと行い市内の消費拡大に繋がることを求める。引き続き全事務事業の見直しと歳出削減を図ることを求め、賛成する。

<国民・立憲の会>

反対

厳しい財政運営の中 区画整理事業に支出

市民税法人分の増加見込みなど、歳入に改善の兆しがみられるものの、依然として厳しい財政運営である。行政のスリム化計画では、水上公園の休止、補助金・助成金の廃止や削減など、住民生活に影響がある一方で、区画整理事業には6億2591万円が支出される予算案であるため反対する。

<市民ネットワーク

「いきいき広場」>

賛成

安全・安心のまちづくりのための予算

羽村駅自由通路の拡幅、川崎街道の歩道整備、気象観測装置の導入、公園高木の剪定など、安全・安心のまちづくりのための費用を予算化している。

厳しい財政状況の中、財政マネジメントの強化に取り組み、公会計制度を有効に活用し、全庁をあげて行財政改革を強力に推進することを期待して、賛成する。

<新しい風>

賛成

歳入に見合った歳出とすることへの工夫を期待

新規およびレベルアップなど重要な事業をはじめ、公明党での来年度予算要望の内容も随所に反映されており評価できる。

引き続き、厳しい財政状況が想定されることから、全事務事業の点検・見直しにさらに取り組み、歳入に見合った歳出とする事への創意工夫を期待し賛成とする。

<公明党>

反対

区画整理事業の見直しを行う転機である

厳しい財政状況のもと、必要な施策の充実が図られた一方で、様々な項目の予算を削減・廃止した内容。水上公園プールの休止など、行うべきでないものが含まれている。

多くの市民から反対の声があげられている区画整理事業の見直しを行う転機である。見直しを行わなかった本予算案には反対する。

<日本共産党>

賛成

将来を見据えたまちづくりへの対応予算

一般財源の減少で前年度に引き続き、多額の基金を繰り入れた非常に厳しい状況だが、市民福祉の向上に寄与する施策や、子育て、防災、都市基盤整備など、将来を見据えたまちづくりへの対応が図られた予算である。行財政改革に強力に取り組み、持続可能な財政運営を行っていくことを強く要望し、賛成する。

<新政会>

国民健康保険事業

Q 糖尿病性腎症重症化予防事業の内容は。

A 特定健診データ等から対象者に通知を送付し、保健指導を実施する。

介護保険事業

Q 地域包括支援センターがすべて委託されたが、市の役割は。

A 3つの地域包括支援センターの連携がとれるように連絡調整と高齢者の支援が充実するようバックアップしていく。



2種類のマンホールカード

西口土地区画整理事業

Q 平成31年度は何棟の移転をするのか。

A 羽村駅前周辺が1棟、川崎1丁目エリアが17棟、羽村大橋周辺が9棟の計27棟を予定している。

Q 擁壁工事で地盤が高くなり、隣接地権者が困惑している。住民や議員への説明は、現状どおりのことではなかったか。

A 事前に権利者へ説明しているが、権利者の考えと合致しない部分もあり、改善策を提案し、誠心誠意対応している。

下水道事業

Q マンホールカードの制作と配布の内容は。

A 2種類のマンホールカードを2000枚ずつ作成する。

水道事業

Q 水道応援団は、平成31年度どのような活動を行い「羽村の水」をPRしていくのか。

A 水道事業を理解していただくため、施設見学を行い、その後イベント等に参加、ご協力いただく。

Q 送水管路二重化基本設計支援業務委託料の内容は。

A 送水管路の二重化に向けて、平成31年度は専門家の支援を受けて、ルートや工法などを検討していく。



平成31年度予算 ～各会計の内訳と前年度との比較～

(単位：万円)

区分	平成31年度 (当初予算)	平成30年度 (当初予算)	増減額	増減率	
一般会計	2,229,700	2,256,000	△ 26,300	△ 1.2%	
特別会計	国民健康保険事業	588,390	595,490	△ 7,100	△ 1.2%
	後期高齢者医療	124,610	120,170	4,440	3.7%
	介護保険事業	373,500	344,410	29,090	8.4%
	羽村駅西口土地区画整理事業	93,150	118,840	△ 25,690	△ 21.6%
	下水道事業	127,980	130,610	△ 2,630	△ 2.0%
	特別会計合計	1,307,630	1,309,520	△ 1,890	△ 0.1%
水道事業 (公営企業会計)	163,842	157,533	6,309	4.0%	
全会計の単純合計	3,701,172	3,723,053	△ 21,881	△ 0.6%	

委員の意見 (西口土地区画整理事業)

賛成

積極的な事業推進のための重要な予算措置

西口地区は、本格的なハード整備に着手して4年が経過。事業を一旦止めることは、協力されている権利者の思いを反故にすることに成り兼ねない。今後も優先整備地区を中心に、着実かつ計画的に事業を推進していくべき。これまでの成果を生かしつつ、関係権利者へより丁寧な対応と効率的な事業の推進を期待し、賛成する。

<新政会>

反対

判決を受け止め、抜本的な見直しの契機とすべき

東京地方裁判所は、事業計画の資金計画がずさんであり、土地区画整理法、地方自治法、地方財政法に違反していると判決を下した。判決を真摯に受け止め、控訴を取りやめ、事業の抜本的な見直しの契機とすべきである。地権者の多くが反対しているが、9億3150万円の予算で事業を継続しようとしており、反対。

<市民ネットワーク
「いきいき広場」>

賛成

土地区画整理審議会に諮りながらスムーズに

平成27年から具体的ハード事業施行に入り、さまざまな形で意見が出るのは当然であり、市の担当者は個別に説明を行っている。事業を進めるには、土地区画整理審議会に諮りながらスムーズに進展が図られるようお願いする。今後も事業を進めていくための関係各位の努力を期待して、賛成する。

<新しい風>

反対

現道を生かしたまちづくりに見直しを

現在の事業計画の資金計画に無理があるとして裁判所に否定される判決が出された。これを機会に、事業費を大幅に減らせる現道を生かしたまちづくりに見直すことを求める。見直しを行わず、市民の生活に直結した他の予算を削減していくことは、順番が違い、市民の理解が得られないため、反対する。

<日本共産党>

羽村駅西口土地区画整理事業会計については4件の意見がありました。その他の会計については、賛成・反対の意見はなく全会一致で可決すべきと決定しました。

※内容は要約しています。詳細は会議録をご覧ください。インターネットで会議録をご覧になる場合は、
「羽村市議会」→「会議録の検索と閲覧」
→「平成31年一般会計等
予算審査特別委員会」